

燻蒸(くんじょう)・細霧による消毒方法の紹介

燻蒸消毒・細霧による消毒について

<概要>

専用の消毒液を煙や細霧として空間に広げることで、壁や床、空気中に存在する菌やウイルスを除菌する方法です。

<主な使用目的>

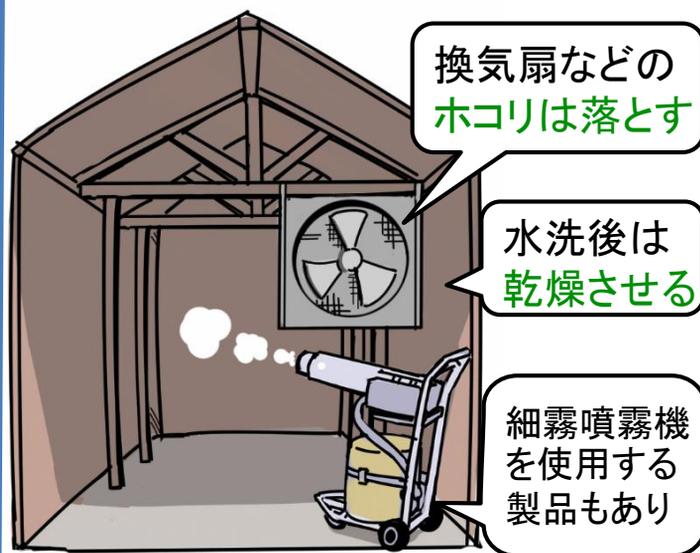
- ・衛生管理区域内に入れる前の資材の消毒として
- ・オールアウトした畜舎で、洗浄消毒後の仕上げとして

メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・対象物品が濡れづらい。(餌袋や設備機器の消毒が可能) ・細かい物品をまとめて消毒可能。 ・畜産排水を削減できる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・一定時間かかる。(2～20時間 ※商品によって異なる) ・燻蒸中は人・家畜に有害。

資材を燻蒸する際の注意点



畜舎で燻蒸(細霧)する際の注意点



燻蒸(細霧)用薬剤の種類・・・過酢酸、二酸化塩素、グルタルアルデヒド、オゾン製剤等

燻蒸消毒中は有害なガスが発生するため、人体や動物への配慮及び食品への残留について留意し、取扱説明書をよく読み記載された方法に従ってください。ご使用の際は一度、家畜保健衛生所へお気軽に相談ください。

